

令和 3 年度 お寺の収支報告書と関白宣言

令和 3 年度の当院の収支報告書をここに公開します。おかげさまでコロナ禍にもめ げずに当該年度も増収増益 過去最高益となりましたことをここに慎んでご報告をいたします。この 6 月 24 日で檀家制度を廃止してちょうど丸 10 年となります。逆風の 嵐の中で一途に突っ走ってきましたが漸くここまで来ることができました。関係各位 のみなさまに深く感謝を申し上げます。15 歳で出家得度をして僧侶となり爾来 40 年 あまりそして今は住職 15 年目を迎えております。激動の寺院社会の中で宗教界に革命 を起こすと言ってやってきましたが今は達成感があります。やり切った感もあります。そして今は 今や宗教界にも宗門にもお寺にも未練はなく興味もなく情熱もなく なってきました。しいて言えば人材人物が育たなかったこと、いなかったことが惜しまれます。これは次期課題として持ち越します。

これからは残された第二の人生を考えます。人生 100 年時代は人生二部構成 一生 の間に二つ以上の職業を持つことが求められます。前半の仕事と後半の仕事と。先代 は中学高校の教員と塾の経営をしていました。生涯現役で出来れば年金生活者にはな りたくありません。若い人たちの世話になったり迷惑をかけたくはありません。常に 時代の先端を駆け巡り決して若い人たちに口出しをしないそんな老人になっていき たいと思います。今は司法試験・予備試験の勉強にまっしぐらです。毎日が孤軍奮闘で す。永平寺での修行時代を彷彿とさせられることがあります。コロナ禍の今だからこ そ自己変革をし環境を変えてパラダイムシフトをする時だと思えます。自分を変えられるのは今だと思えます。これまでは宗教家 経営者 経済人 そして芸術と旅に生 きてきましたがこれからは法律家を目指します。裁判官は無理でも宗教的人権派弁護 士を希望しています。弱者救済の法律相談。寺院再生のための法的手続きと指南が今 のところの目的です。願わくは生涯一修行僧 一挑戦者のまま終わりにしたいと思っ ております。しばらくは雲隠れをすることにもなるかと思えますが温かく見守っ ていただけましたら幸いです。それではまたいつの日かお会いしましょう。

合掌

令和 4 年 6 月 1 日
見性院 橋本英樹 拝